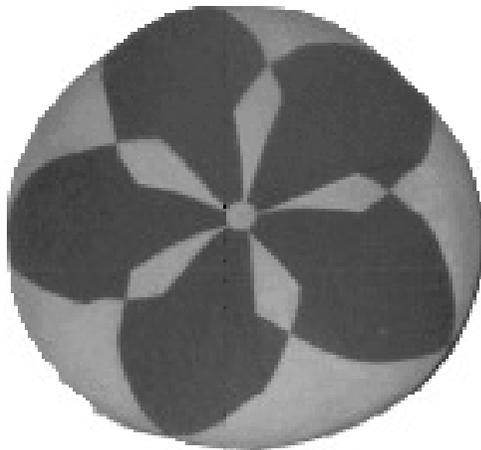


発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



初代様手縫の土瓶敷（芳井分教会所蔵）

をやの思いをにをいかけ、

^{うちうち}
内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

記録的 猛暑の中も

こどもおちばがえり 開催



今年も恒例の「こどもおちばがえり」が7月26日から8月4日までの10日間に亘って、感謝、よろこび、ひのきしん”のテーマで開催されました。今年のトップは26日に高屋団体がJR列車で帰参しました。先に到着した鼓笛隊が詰所広場で演奏して団体を迎えました。また、29日から8月にかけて福山、島根、久松、上下、府中市、直轄

1・2などの教会がそれぞれバスや自家用車などで帰参しました。こどもたちは連日の猛暑の中も元気よくいろいろな行事に参加したり、夜は詰所の中庭で開かれたゲームや模擬店を楽しみました。また、直轄、福山、高屋、島根の各むつみ鼓笛隊は日頃の練習の成果を親神さま、おやさまにご覧いただき、オンパレードでは高屋鼓笛隊が統率された行進と迫力ある演奏により見事金賞に輝き、他三隊も一手ひとつの演奏により銀賞を戴きました。

受け入れ側の詰所ではこども達が喜んでくれるよう部屋の掃除や晴れた日のふとん乾し、トイレのそうじ、食堂、風呂などの大掃除などたくさんの方々が準備

のひのきしんに大わらわでした。今年も多くの人の真実により大きな事故もなく、無事に「こどもおちばがえり」は終了しました。なお、おちばは期間中に全国各地から27万余の帰参者で連日賑わいました。

3回目の子どもおちばがえり

笠岡大教会 6年 定光 祐美

私は、今年でおちばがえりに参加するのは3回目です。

今年は、小学生最後の夏休みなので、今までよりもとても楽しみにしてきました。

当日、私は、楽しみで大天理教に行きました。そして参拝をしてバスに乗りこみました。バスの中では、朝ごはんを食べてなかったせいか、いつも以上におかしをたべました。

本部につくと、まずきょうふのやかたに行きました。私は、あまりおぼけやしきなどがすぎではなかったのので、すつごくドキドキしていました。

入ってみると、思っていたよりもとってもこわかったです。でも入ったあとに、もう一度入りたいなと思いました。

そして、となりで少しあそんだりして、つめ所に行きました。それから夕食などをすませてからおやさとパレードを見に行きました。とってもすごかったです。

次の日は、楽しみな行事がたくさんあります。私が特に楽しみにしていたのが、買い物です。私は、その買い物時間をいまいまかと楽しみにして行きました。そして、プールに入って、やっとなんか物を買いました。買い物では、友達や家ぞくへのおみやげをたくさんかいました。でもその日は、楽しいことばかりでは、ありませんでした。つかれたこともありです。それは、回ろうひのきしんです。回ろうひのきしんでは、板がたくさんあったのでとってもつかれました。

その日の夜には、中庭で、お楽しみ行事がありました。

そして、その日は、土居なつちゃんのたんじょう日みだいたたので、みんなでお祝いしました。ケーキも食べました。おいしかったです。

3日目おちばがえりの最後の日。その日は、にん者村に行きました。にん者村へ行った後は、服がすっごくぬれていました。だけど気持ちよかったです。それから、ミュージカルを見た後にカレー食堂に行ってカレーを食べてバスに乗りこみました。

ひのきしんってすばらしい☆

上下分教会 原田 ほか

私は今年初めて少年ひのきしん隊に参加しました。行く前はめんどくさーとか、いやだなーとすっごく思っていました。そして出発する日が近づいてくると、だんだんきんちようや不安になつてきました。出発する日もすっごくドキドキしていました。あきよ志教会に着くと知らない人がたくさんいて、こんなに行くの？と思ってしまうました。そしていよいよバスに乗り、奈良へ出発です。バスの中はとてにぎやかです。すっごく楽しかったです。奈良にもあつというまにと着きました。初日は班とカウンセラーさんが発表されました。同じ班の子と友達にもなれて、不安がちよつとなくなりしました。

二日目、今日は本隊と合流の日です。宿舎も移

動します。また昨日みたいにドキドキしていたけど、不安はなくなっていて逆に楽しみでした。本隊と合流して、知らない人がますます増えただけ、みんなががんばっていいこう！と思いました。

三日目、ついにこどもおちばがえりが始まりました。ひのきしんはすっごく大変できついけど、お茶をあげて「ありがとう。」と言われると、うれしい気持ちになつてもつとがんばれます。ひのきしんをすることは良いことだなーと思いました。ひのきしんが始まつてから、一日がすっごく短くなつた様な気がして、これはいつしようけんめいひのきしんをしているからかな？と思いました。

ひのきしん以外にも期間中には楽しいことがいっぱいありました。その中でも私が一番心に残っていることは、おやさとパレードです。生まれて初めてパレードというものに出て、みんなの前でおどれてとても楽しくて気持ち良かったです。見る側も楽しいけれど、見せる側はその倍楽しいことを初めて知りました。サイコーのパレードでした。

少年ひのきしん隊だった一週間はとても早く終わってしまったけど、良い思い出になりました。おちばがえりがとても楽しいものになるようにいろんな人ががんばっているんだなあと思いました。去年まで私がすっごく楽しめていたのも、いろんな人のおかげでした。ひのきしんをして、あらためて「ありがとう」という言葉は良い言葉だなーと思いました。

来年も絶対参加して、多くの人を笑顔にさせたいです。

少年ひのきしん隊に参加して

多古浦分教会 余村 喜久代

今年の夏、私は少年ひのきしん隊に参加しました。

去年中学生になって兄が少ひにでいたので私もでることにしました。

今年は、前半隊で出て、初日に、去年いた友達とかいて、会話をかわしていました。久しぶりだったので、けっこう長く話していました。

奈良につき、その日は山陰詰所で、みんなで自己紹介とかをしました。初めてきてた人とかは、顔をしらなかつたけど、すぐに仲良しになることができました。

二十五日は、入隊式があつたので、隊服に着がえました。あとその日は、パレードのリハーサル出演があつて、本番ではなかつたけど、すっごく楽しみにしていたので、踊りをしたときはみんな楽しんでできました。

二十六日は、いよいよひのきしんがはじまりました。私はお茶くみひのきしんとパレードを一番楽しみにしていたので、少し、きんちようしていました。その日、一班は、参考館の所でひのきしんをしました。そこでは、鼓笛隊の人達がいっぱいいて、休憩の時にどつとくるので、少し大変でした。だけど、そこでお茶くみをして、お兄さんとも仲良くなつてしまいました。

二十八日は、天理駅前でお茶くみひのきしんをした後、おつとめまなび教室へ行きました。おつとめまなびでは、私は琴を習いました。前から、

できていたけど、他の事もたくさんおそわりました。そして夜、すごく楽しみにしていたパレードがありました。友達となぜか爆笑しながら踊っていました。終わったあとはすごくつかれていました。ただいい思い出になりました。

そして、二十九日は、夜に室内オリンピックがありました。いろんなきょうぎがあつて楽しかったです。しかもそれで、島根一班が2位になりました。けい品にお菓子ももらえてよかったです。

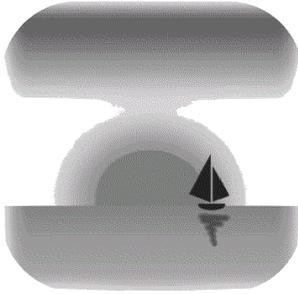
三十日にはやかた前でのひのきしんが終つたと、ずつとずつと練習をしていて、夜にその練習の成果を見せる、行進コンテストがありました。

去年とほとんど一緒だったけど、「おかささん賞」をもらうことができてうれしかったです。

三十一日(最終日)には、解散式があつて、泣いている人がたくさんいました。

少ひにできると、友達がたくさんできるのでとても楽しかったです。事前、事後の研修会でも、みんなねずに、友達と話していて、一夜をすごすという感じです。

いろいろと思いができて良かったです。来年も絶対でたいです。



一通の手紙

突然のお手紙大変失礼致します。

私は広島のI分教会のYと申します。

先日(三日)広島東支部隊のこどもおぢばがえりを終えて、山陽道で帰り道、福石のSAでトイレ休憩をとっていました。全員トイレを終えたと思つたので出発したところ、長女が乗っていないことに気付き、引き返そうかとスタッフで話し合っていたところへ、貴教会の団体の方から、うちのスタッフの携帯へ電話が入り、福石のSAで娘を保護していただいたとの事でした。

その後、吉備のSAまで娘を貴教会のバスへ乗せてもらつて連れて来て下さり、その間、ジュースやお菓子までいただき、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

もし、あの時、娘を保護してもらつたことができなかったら最悪の場合、娘の身に何か起こつても仕方なかったと思います。

本当に何回御礼を申し上げても言い足りないくらいですが、命を助けて下さつたのと同じだと思えます。

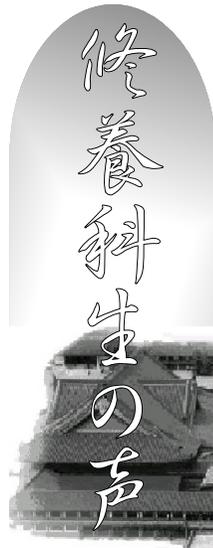
本当にありがとうございます。

無事に広島へ着いてから、親神様、教祖へも御礼申し上げました。

当たり前のようで当たり前でない、家族全員が揃う団らん喜びを深くかみしめている今日この頃です。

平成一六年八月五日

.....
こどもおぢばがえりから帰って一息吐いていると、右のような手紙がきました。こどもおぢばがえりにはいろんなドラマがあるなあと感慨の裡に読ませていただきました。



修養科生の声

『我生涯一修養科生・ 月日のやしろ』

神邊分教会 猪原 崇史

2004年5月25日まで私は天理教信者でもなく、身上事情もなく、心を修養しにおちばへ帰参した訳ではなく、信者であった祖父が去年出直し、後を追うが如く祖母が出直した頃、おじさんから『修養科は楽しいぞ、行くか?』の一言で心が迷いました。生前の祖父が『世界の人と仲良くせよ。』と言っていたので前から弱い立場の人の力になりたいと思ひ、幾つかボランティアをしていたので修養科で点字と手話両方習得しようと思ひ、修養科へ来る決心がつかしました。座りづとめ? やったことねえつつうの!! 周りの人はできるようで: 月次祭最中、酒を勧められありがたく頂いたのに朝礼で修養科中は禁酒と言われ、ムツとした。昨夜のはなんなあ? そして朝からひのきしん、他六人の仲間には気を使いながらの生活、段々ストレスも溜まり発散する場もなく、修養科が始まったら、はつぴを着た女子を目で追うこと、笑顔を決やさないこと、髪の毛を立たせる事しか自我を保てず、仲間不足を言うことしかできなかった。そして胃と十二指腸潰瘍併発と言う身上を頂きました。(笑)。岡崎先生に心を治めよ、と言われ無理を承

知の助、我慢した。こども団参が始まって炊事本部で仲良くなった友達や、詰所で子供返りした人と遊んでくれた子供に癒され、助けられて少し大人になれた気がしました。あと残り少ない修養科生活で友達を増やし、土持ち、回廊拭き、教室の清掃、神殿参拝、買い食い、などもうしたくてもできなくなると思うと、寂しい気がします。そうした修養科生活の中で得たものは、人に合わせる事、人の気持ちを考えて行動すること。です。そういうことが自然にできたら、本当に困っている人、弱い人の力になれるんだらうと感じました。最後に、詰所の方々、先生方、私に声をかけてくれた皆様、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

ONE LOVE, ONE PEACE,
JAH, RASTAFARI !!

修養科へ来て感じた事

米美分教会 宮本 美奈子

修養科に来させて頂いて、最初は、何でわざわざ修養科に行かないといけなんだろう、何でまたお道の話聞く勉強しないといけなんだろうと思ひました。

修養科へ来る三ヶ月前迄は、島根富士通の方で派遣社員として働いていましたが、色々事情、身上があつた為、辞めました。すぐにでも修養科へ行けば良かったのですが、渋ってましたので、寒い時期は嫌だから、暑い時期がいいと思ひ、米美の会長さんに、六七八月で修養科に行かせて下さいと頼みました。修養科へ来て、面接があつ

て貴方は、一〇三組ですよっておしえてもらい、どんなクラスになるのかな? みんなと仲良くなくなるのか不安でした。老若男女、若い人もいれば、年配の方もいる、大丈夫かな? 心配でたまりません。三ヶ月間、無事に通ることが出来るのかな、毎日思つてました。私は若い人受けは、あまり良くなく、年上、年配の方には、良くしてもらえます。うちのクラスには、修養科生3回目という方も沢山おられて、修養科で大変なのは、というかなんなものは、ひのきしんと鳴物・お手振り、午前午後の神殿掃除さえやっていけば大丈夫だからねって言われたのにもかわからず、朝早く起きられなくて午前の神殿掃除をおこたったり、鳴物も、上手く弾けないからと言って休んだり、ひのきしんも手を抜いたり、4番組掛さんに、「宮本さん、このまま行くの特志ひのきしんの対象となるから頑張つて出て下さいネ。」と言われてしまうハメになりました。現在、まだ三ヶ月目もうすぐ終わりますが、鳴物を胡弓から打ち物へ変えてもらい楽しくしております。胡弓、最初、楽しそうだと思つて習つたんですが、弓をずっとひいておく場面が多いのと調律が分からないし、どこをどうしたら、調律(音の高さ)が変わるか分からないので、辞めてしまいました。だから弾けるのは「よりづよ八首」だけはがくふを見てなら、ひけると思ひます。

自分が暑い時期を選んだのは、失敗だったと思うことを書こうと思ひます。子供おちばがえりがあることをすっかり忘れていて、沢山、団体が帰つて来られて詰所ひのきしんがてんでこまいの毎日十日間でした。毎日、洗淨の毎日、洗ひ物は沢山、腰が痛い、手が荒れて皮がむけてポロポロ。朝起

さらなくなり二日程、寝込んでしまいました。もともと自分なりに、働く予定だったのにと、終わったあとのまつりでした。もともと体を動かす事は好きだし、重たい物を持つてはこぶのも好きなんだけれど、食器を洗うといった細かい作業はどうも苦手で、一応女性なんだけれど、料理が苦手なので来る前は、全部、母親にまかせつきりなのでする事なかったし多分修養科生で女子は二三人はいるだろうなと確信して来たら、今期は修養科生女子は宮本さんだけですよって詰所主任先生が言われたので、がっくりきました。なかなか、皆に合やす事が苦手なので大変ですが、一生懸命頑張りたいと思います。修養科修了したらみんなに助かってもらいたいから、沢山の人がおさづけを取り次がさせてもらいたいんです。まだ用木になっていないので、二十日前後におさづけの理拝たいが待っているので一生懸命つとめさせて頂きたいと考えております。

来て良かったのは、一〇三組で良かった。担任の高安大教会の橋本先生で良かったということ。です。親身になって考えてくれた、先生なので、私は辞退しようと考えていた心をなくさせてもらったので、橋本先生には、感謝の心ですごくいっぱいです、先生、ありがとうございますと言いたい位です。詰所の一ヶ月目の教養掛の先生が伯仙分教会の川上先生でよく知っている方だったの、とても安心できました。岡崎先生にもいろいろ、本当ご迷惑をおかけ致しましたが、三ヶ月間の教養の先生が岡崎先生で良かったと思います。あとは、みんなに迷惑ばかりかけてしまった事、おわびします。ごめんなさい。でも本当、修養科来て良かったと思います。来たくなかったハズな

のに、もう一度修養科へ来たいと思います。これからもお道の勉強させて頂いておいがけやりフレット配りをしてゆきたいと思います。

談話室



いま、あなたは健康ですか？

稲倉分教会 北川 和成

「いま、あなたは健康ですか？」と聞かれて胸を張って答えられるでしょうか。毎日の生活や仕事に追われるなかで、果たして自分が健康なのかどうか、絶対の自信を持てる人は意外に少ないのが現実です。

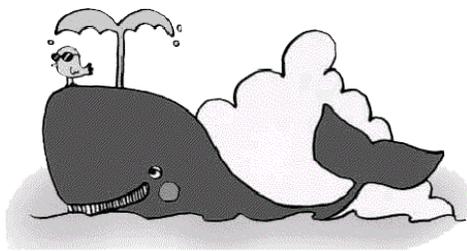
人間ドック受診者を対象とした全国規模の集計によると、各検査項目の基準値に照らして健康者の割合は全体の十六・四％ということ。つまり百人のうち八十人以上の人が何らかの病気の発症につながる危険因子を抱えているわけです。その多くの原因が、日常生活の悪い習慣が原因となっている生活習慣症(成人病)です。過食やストレス、運動不足といった体に負担をかける生活を日々繰り返すことよって症状を誘発します。日本は世界一の長寿を手に入れた一方で、これらが原因での、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、失明などで寝たきりの老後を余儀なくされる人が、増えて

いるという厳しい現実を目のあたりにします。親神様から御貸し頂いているすばらしい体を大切に使用させて頂くために、いま一度毎日の生活を見直し健康で明るい年の重ね方をさせて頂きたいと思ます。

話は変わりますが、私は教会に生まれ両親の熱心な信仰を見ながら育ちました。折にふれおたすけの体験を聞き感銘を受け、身上を頂いてもおさづけで御守護頂けると言う環境の中、現在私が二十年病院の検査業務に携わり多くの患者さんの中で仕事し、病気を見つける毎日を何か不思議に思っています。教会の月次祭には、毎月参拝させて頂いていますが、病院での経験が少しでも教会の上に役に立ち寄り合った信者さんと話が出来ればと、思っています。

医療の中で特に検査領域は、日進月歩で新しい検査が開発され早期に診断が出来るようになりました。近年、検査データは治療に不可欠になりました。反面、ストレス・精神的疾患は個人差が大きく、

データとして出てこないのが現実です。天理教のおたすけも決してデータに基づいたものではないと思います。おたすけをさせて頂く側が、親神様に受け取っていたデータすべて持っているのでは、と思います。日々、明るく健康にごさせて頂き、よいデータを収集したと思います。



こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌八月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「応」、撰七十四句中、笠岡に繋がる教友の方二名、二句が見事撰ばれ掲載されていましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

佳詠 東悠分教会長夫人 田林 美智子

一言に素直に応え日日感謝

佳詠 芳阪布教所長夫人 杉原 優子

親神の理に応える日々の道楽し

病喜録のうた

東濱 十三雄

午前二時 ベッドの端を握りしめ

歯を食いしげり 痛み抑えて

花園を進んで行けばなつかしき

故人ばかりが 手招きをする

負けられぬ 己が心に 負けられぬ

どんな景色が 現れるとも

陽気川柳

油木分教会長

黒瀬 修式

さても陽気に歌を並べて

しりとり川柳歌いましょう

うた詠めばもめるところも穏やかに

にが口は聞かぬも語るもなさない

いらくを歌に託して楽しませ

川柳で不足転じて喜びに

にくくと作る笑顔で福を呼び

美容にも健康にもよし笑顔かな

なき事は上手く云えども損は損

損ばかり負け越し人生ならぬよう

ようき道勝^{みち}ち越し人生結構く

結構で世界救かる守護を受け

・原・稿・募・集・

内 容

- ①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、
- ③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
 俳句等は1句からでも結構です。

寄稿先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には一列の子供かわいい一条の親心から草花はもちろん総てのものに旬をお与え下さり育て下さっておりますが中でも特に直に子供に働きかけるものとして個人には身上事情を通して全人類には「雷、地震、大風、水つき」を通してお道には教祖年祭等を通して個々の心の成人をお促し下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます。しかるにその理が分からず只苦しみに喘いでいる人やどのようにして心の成人を計つて良いのか分からず苦しんでいる人が多くいます事は誠に申し訳なく陽気ぐらし建設の用木たる私共はその思召を伝えるべく日々反省を重ねつつ生かされている喜び心一杯にたすけ一条の御用の上に微力ながらも精一杯勤め励ませて頂いております。その中にも今日の吉日は陽気ぐらしへと立て替わる手立てとお教え下されたおつとめをつとめる日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同心を一つに揃えて御教え通りに明るく陽気に勇んで座りづとめ手をどりをつとめて七月の月次祭を執り行なわせて頂きます御前には盛夏の暑さ厳しき中も厭いませず今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し同じ思いに伏し拝む状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。又今年も子供おぢば帰りが開催されますので一人でも多くの子供さんを連れ帰って親神様教祖にお喜び頂きたいと存じますが元々は土持ちひのきしんによるおぢばへの伏せ込みが目的であったことを思案し子供おぢば帰りが単なる娯楽にならないよう積極的に仕込み伏せ込み行事に参加させて頂きたいと存じますのでどうぞ事故怪我等のないようお連れ通りの程もお願い申し上げます。

さて最近老人の孤独死や母親の育児放棄等の事件が増加しそれが意外と身近な所でおきているニュースを見る度に在いがけが行き届いていないことを痛感致します。教祖百二十年祭は実動の旬ほんのわずかな声掛けによつて救かる命もある事を思います時ますます、勇んでに在いがけおたすけに邁進させて頂く覚悟でございます。

何卒親神様には旬に込められた思いを真摯に受け止め実動する皆の誠真実の心をお受取り下さいまして万たすけの上に「たすけの旬たすかる旬」にふさわしい自由の御守護をお現わし下さり人々の心なたすけ合いの喜びを思い起こさせて頂いてお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早くお導き下さいますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます。

◆学生の集い

【日時】	9月23日(木) 10時開講、16時閉講
【場所】	笠岡大教会
【対象】	高校生以上
【参加御供】	500円

◆立教167年 全教一斉においがけで一

【一斉活動日】 9月28日(火)、29日(水)、30日(木)
9月はに在いがけ強調の月です

*全家庭へに在いがけ

- ①支部より割り当てられた地域に対して、一斉活動日を除く日に、教会独自で計画を立て、責任をもってリーフレットの完全配布をさせて頂きましょう。
- ②教会長は一斉活動日に、一人でも多くのよふぼくを連れて参加させて頂きましょう。
- ③遠隔のよふぼくには、地域での一斉活動日への参加を強力に呼び掛けて下さい(リーフレットを教会から送付する)。

◆親善大ソフトボール大会（有志）

ブロック対抗の親善ソフトボール大会を開催致します。
老若男女を問わずご参加いただき、相互の親睦が深まればと存じます。
昼食もご用意致しますので、どうぞお気軽に！

- 【日 時】 10月3日(日) 午前8時半 笠岡大教会集合
【場 所】 笠岡市茂平運動場
【申し込み】 9月19日迄に各ブロック連絡係へお申し込み下さい。
【参加御供】 高校年齢層以上の男性のみ500円
【連絡係】 直1・2：浅野明教、福 山：平盛尚樹、高 屋：瀬良 昇、島 根：門脇裕教、
久 松：中村真人、上 下：高田一弘、府中市：山田睦弘。

◆秋季大祭 おかえり講話

- 【日 時】 10月25日(月)午後7時より
【会 場】 笠岡詰所北棟3階講堂
【講 師】 伊 藤 正 和 先生(幅下部属 愛知旭)

◆本部 青年会 総会

一年に一度、真柱様が青年会員に対し、我々の歩むべき道筋をお示し
下さいます。暗中模索し混迷する時代、確かなる親の声に耳を傾け、
一年の指針にしようではありませんか。

- 【式 典】 10月27日(水) 午前10時 本部中庭
【前 夜 祭】 10月26日(火) 夕つとめ後 東西泉水プール前広場(笠岡分会出店予定)

◆おやさとふしん 青年会 ひのきしん隊

今年はひのきしん隊結成五十周年の節目の年です。
十一月隊は南右第二棟の瓦葺きに携わる予定です。我々青年会員は
人様をひのきしん隊にお誘いし、共に入隊してそのお世話取りを通して
教会に携わるものとしての資質を養おうではありませんか。

- 【期 間】 11月1日(月)～11月24日(水)
【資 格】 16歳以上の男子
【費 用】 各ブロックが負担します
【申 込 み】 10月26日迄に大教会・浅野へ御連絡下さい。

◆別席団参 11月28日(日)

◆各行事に参加ご希望の方は、
各ブロックの担当者にお申し込みください

